



“地域のことは地域で考えよう”

2016年8月29日

おきぎん県内景況・速報

2016年7月

一県内景況は、拡大している一

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、ビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは

下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数、負債総額は発生なし。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2016年7月分)

◎2016年7月 おきぎん「カトレア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

7月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は食料品や雑貨などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、エアコンや洗濯機の売上増加などにより前年同月を上回りました。新車販売台数は普通乗用車需要の増加などから前年同月を上回りました。

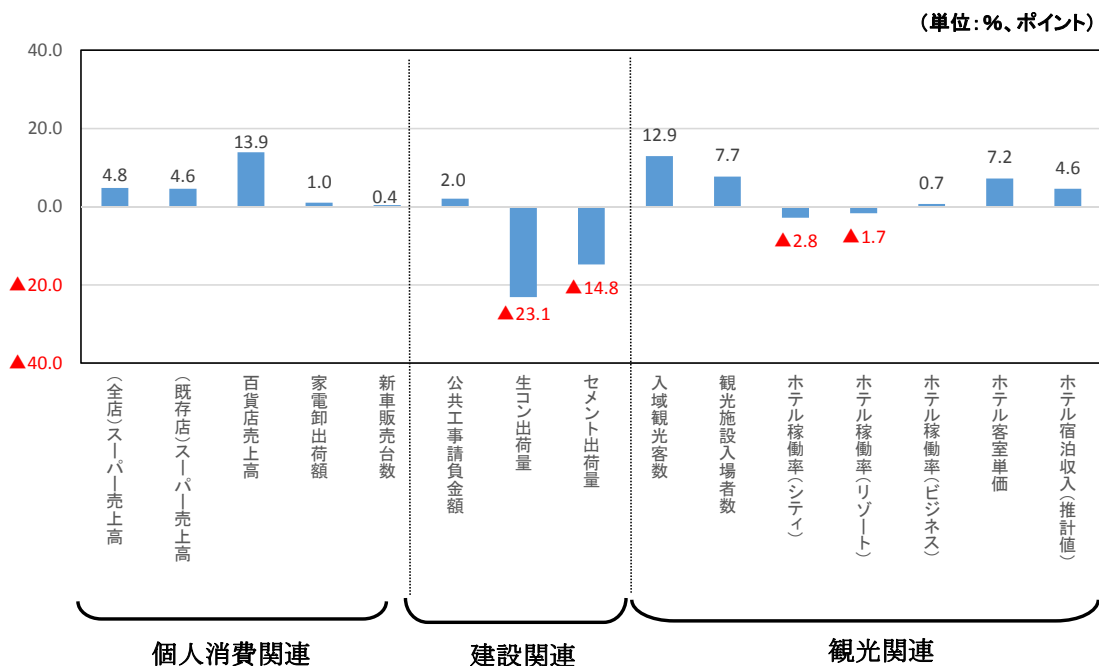
建設関連では、公共工事請負金額は、国やその他公共的団体発注による工事増などで前年同月を上回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は46ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から30ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



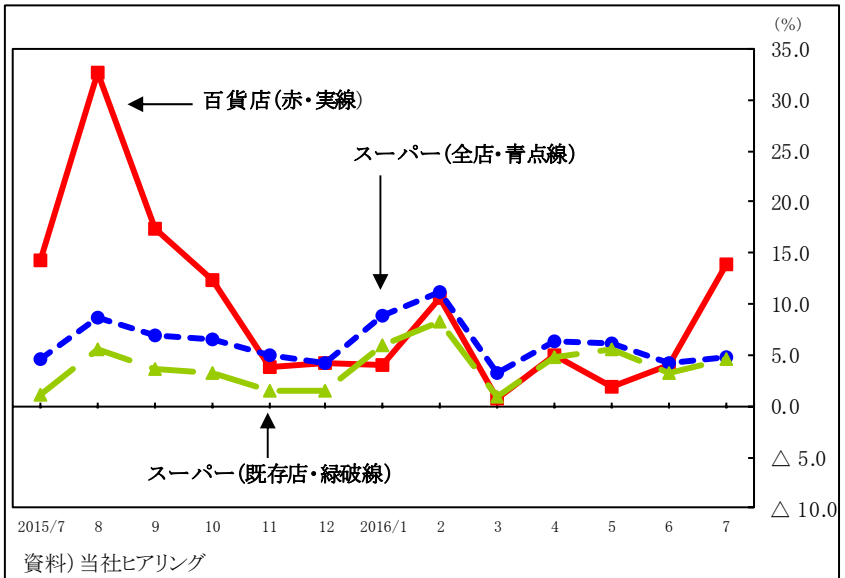


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2015/7	4.6	1.1	14.2
8	8.7	5.6	32.7
9	7.0	3.7	17.3
10	6.6	3.3	12.3
11	4.9	1.5	3.8
12	4.2	1.5	4.2
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5
3	3.3	0.9	0.7
4	6.3	4.8	4.9
5	6.2	5.5	1.8
6	4.2	3.3	4.1
7	4.8	4.6	13.9

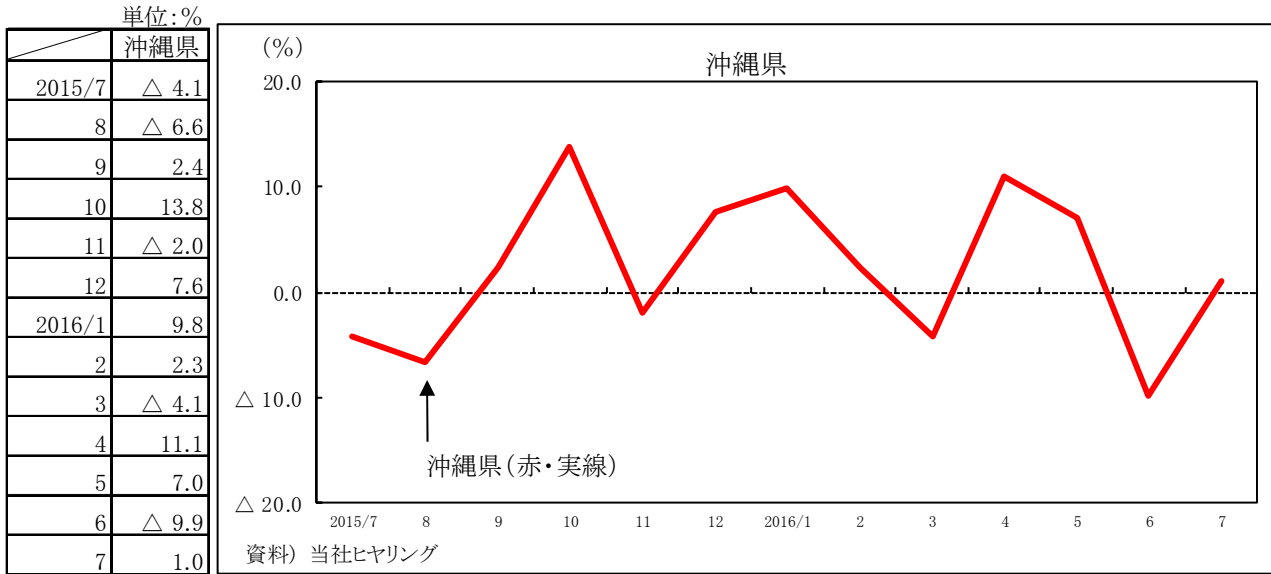


注) 前年同月比

7月の個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース(前年同月比4.8%増)」が16ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年より土、日曜日がそれぞれ1日多いほか、新規出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同4.0%増)」や家電を含む「家庭用品(同7.6%増)」の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「既存店ベース(同4.6%増)」は店舗改装による集客効果などから、16ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同3.4%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)や惣菜の売れ行きが堅調だったほか、旧盆の時期が前年(8/26-28)に比べ、今年(8/15-17)は早く、一部の中元ギフト需要が前倒しされたことなどから、前年同月を上回りました。「衣料品(同8.1%増)」は、前年にみられた台風の影響も無く、気温が高く推移したことなどから、夏物衣料の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。また、家電を含む「家庭用品(同8.6%増)」は、買い替え需要などから白物家電(冷蔵庫、洗濯機、エアコン)やテレビなどの売れ行きが好調だったほか、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類)の増加などから、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、前年より土、日曜日がそれぞれ1日多いほか、店舗改装や周年企画開催による集客効果などから、「食料品」や「雑貨」などの売れ行きが好調で、前年同月を上回りました(同13.9%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同8.2%増)」は、主力商品である「婦人服(同9.6%増)」をはじめ、クリアランスセール開催により売れ行きが好調だったことなどから、前年同月を上回りました。「食料品(同29.5%増)」は、生鮮全般や惣菜の売れ行きが堅調だったほか、一部の中元ギフト需要が前倒しされたことなどから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同19.4%増)」もクリアランスセール開催や継続的な国内外観光客需要などにより売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

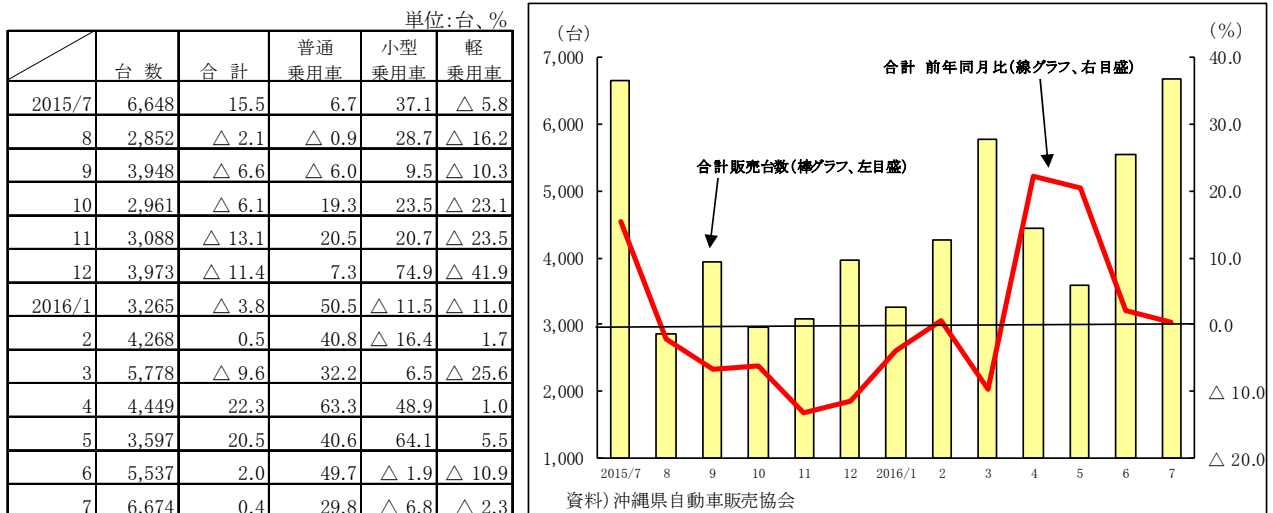
②家電卸出荷額…エアコンや洗濯機の売上増加などにより、前年同月を上回る。



注)前年同月比

家電卸出荷額は、エアコンや洗濯機の売上増加などにより、2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました(同 1.0%増)。品目別では、「エアコン(同 44.6%増)」は、前年に落ち込んだ反動に加えて、気温が高く推移したことなどから、前年同月を上回りました。また、「洗濯機(同 9.6%増)」や「冷蔵庫(同 3.5%増)」は、新型商品効果や旧型商品の販促強化などの動きがみられ、前年同月を上回りました。一方で、「テレビ(同 8.0%減)」は、新型商品効果が一部でみられたものの、前年に大きく伸びた反動の影響などから、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…普通乗用車の需要増加などから、前年同月を上回る。



注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で6,674台(同0.4%増)となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「小型乗用車(同6.8%減)」は前年に伸びた反動減などから2ヵ月連続、「軽乗用車(同2.3%減)」は軽自動車税増税の影響などから2ヵ月連続で、それぞれ前年同月を下回りました。一方で、「普通乗用車(同29.8%増)」は、レンタカー需要の増加などから10ヵ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

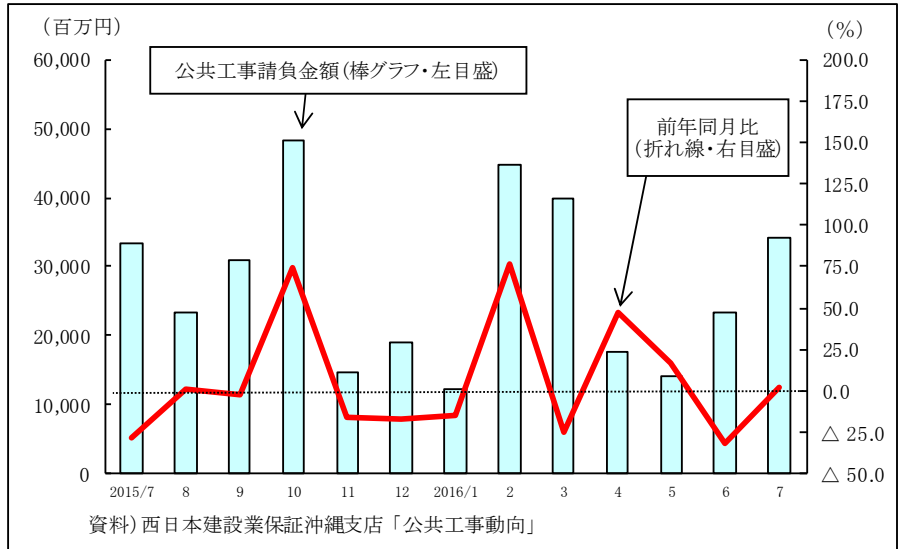


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2015/7	33,472	△28.3
8	23,352	0.8
9	30,835	△2.1
10	48,301	74.7
11	14,816	△15.4
12	19,114	△16.8
2016/1	12,202	△15.0
2	44,788	76.4
3	39,972	△24.7
4	17,690	47.5
5	14,261	16.8
6	23,421	△31.8
7	34,156	2.0

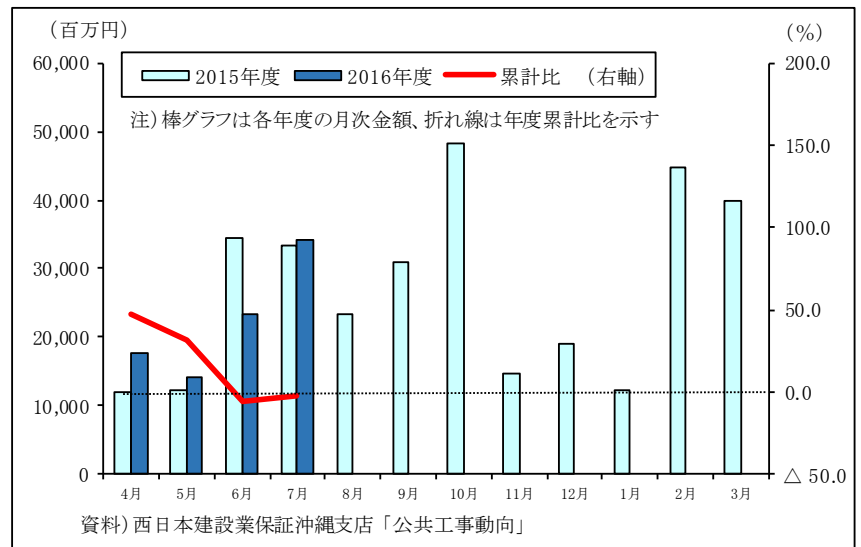


7月の公共工事請負金額は、前年同月比2.0%増の341億5,600万円となりました(2ヵ月ぶり増)。発注者別でみると、「国(同28.5%増)」は中城湾港関連の大型工事など、「その他の公共的団体(同89.8%増)」は産業支援センター関連工事などで前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等(同21.8%減)」や「沖縄県(同8.2%減)」、「市町村(同10.3%減)」などは下回りました。

【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位:百万円、%

	2015年度	2016年度	累計比(右軸)
4月	11,991	17,690	47.5
5月	12,215	14,261	32.0
6月	34,358	23,421	△5.5
7月	33,472	34,156	△2.7
8月	23,352		
9月	30,835		
10月	48,301		
11月	14,816		
12月	19,114		
1月	12,202		
2月	44,788		
3月	39,972		

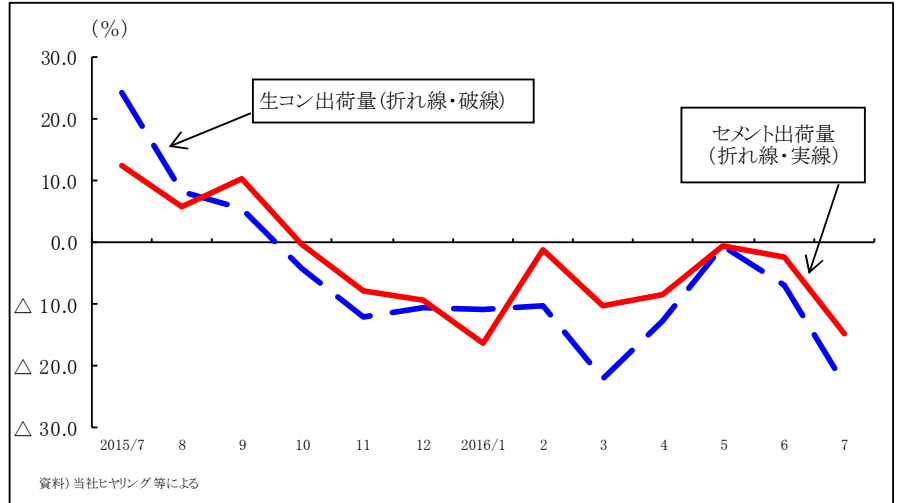


今年度4～7月までの累計を前年度同期と比較すると、2.7%減となっている。(上記折れ線グラフ)

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2015/7	24.3	12.4
8	8.4	5.9
9	5.5	10.4
10	△ 4.2	△ 0.2
11	△ 12.2	△ 7.7
12	△ 10.5	△ 9.4
2016/1	△ 11.0	△ 16.3
2	△ 10.2	△ 1.2
3	△ 22.2	△ 10.2
4	△ 12.7	△ 8.4
5	△ 0.7	△ 0.7
6	△ 7.1	△ 2.4
7	△ 23.1	△ 14.8



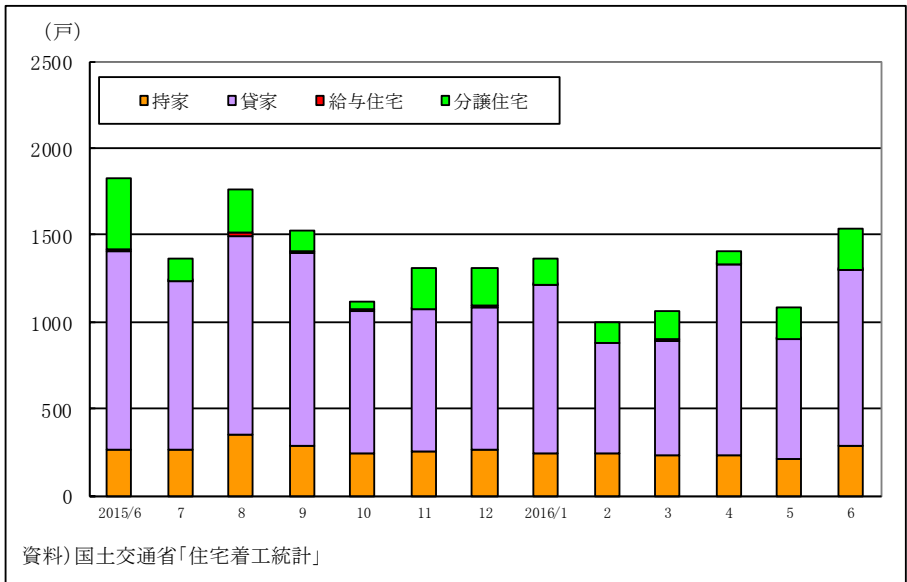
(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は23.1%減少し10ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年あった空港関連の大型工事の反動などで前年同月より50.2%下回り、民間工事向け出荷は2.0%上回りました。セメント出荷量も14.8%減と10ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(6月)…着工戸数は前年同月を下回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2015/6	1,828	27.7
7	1,362	16.2
8	1,764	19.0
9	1,527	17.4
10	1,118	9.8
11	1,306	7.4
12	1,306	△4.5
2016/1	1,366	15.7
2	1,000	△25.3
3	1,062	8.4
4	1,409	20.2
5	1,085	△13.5
6	1,535	△16.0



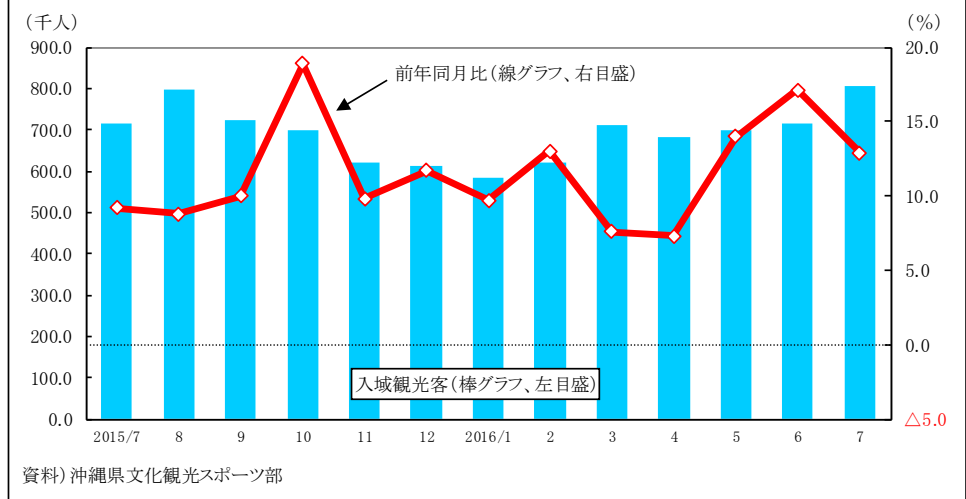
新設住宅着工戸数(6月)は、全体で前年同月比16.0%減の1,535戸と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「持家(同8.4%増)」は前年同月を上回ったものの、ウェイトの高い「貸家(同11.4%減)」や「分譲住宅(同43.5%減)」は下回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…46ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/7	714.0	9.2
8	797.5	8.8
9	724.7	10.0
10	696.8	18.9
11	619.6	9.8
12	613.6	11.7
2016/1	581.6	9.7
2	622.5	13.0
3	709.2	7.6
4	681.5	7.3
5	697.1	14.0
6	714.4	17.1
7	805.8	12.9

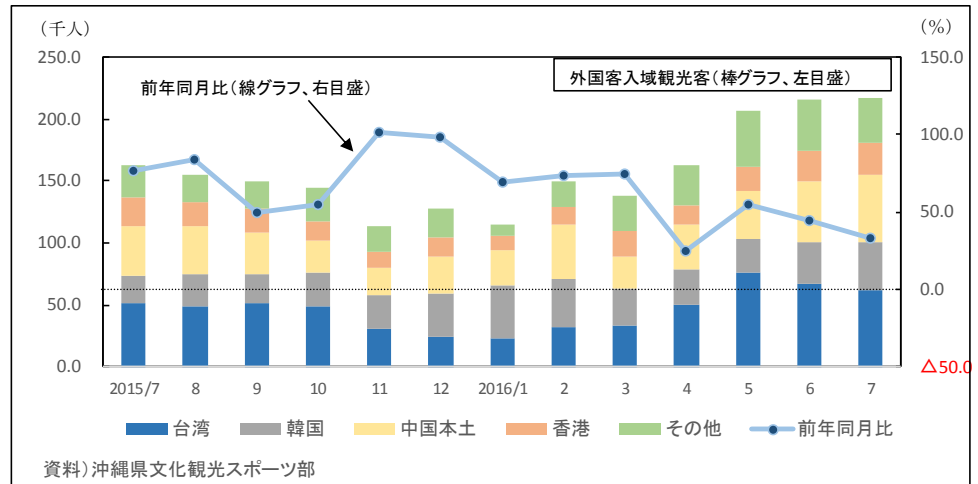


※外国客は乗務員等を含む

※上記 2016 年 5 月の数値については、沖縄県よりホームページにて数値訂正の公表(2016 年 8 月 19 日付)があったことから遡って修正した。

外国客 入域観光客数…36ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/7	163.0	76.6
8	154.7	83.7
9	149.6	49.7
10	145.1	54.7
11	113.4	101.1
12	128.3	98.3
2016/1	114.9	69.2
2	149.9	72.9
3	137.9	74.6
4	162.2	24.2
5	206.5	54.5
6	215.9	44.7
7	217.3	33.3



※外国客は乗務員等を含む

7月の入域観光客数は、91,800人多い805,800人(前年同月比12.9%増)となり、46ヵ月連続で前年同月を上回りました(7月としては過去最高、単月として初の80万人超え)。

内訳をみると、「国内客(同6.8%増)」は588,500人と、各航空会社による増便(深夜便を含む)等の航空路線拡充、機材大型化による提供座席数の増加等により好調に推移しました。また、昨年は台風襲来の影響(9号、11号、12号)があったものの、今年は台風による影響が少なかったことから、その反動効果も加わり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同33.3%増)」は、217,300人と36ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により、空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

「台湾(同20.1%増)」「韓国(同77.5%増)」「中国本土(同35.9%増)」「香港(同11.7%増)」

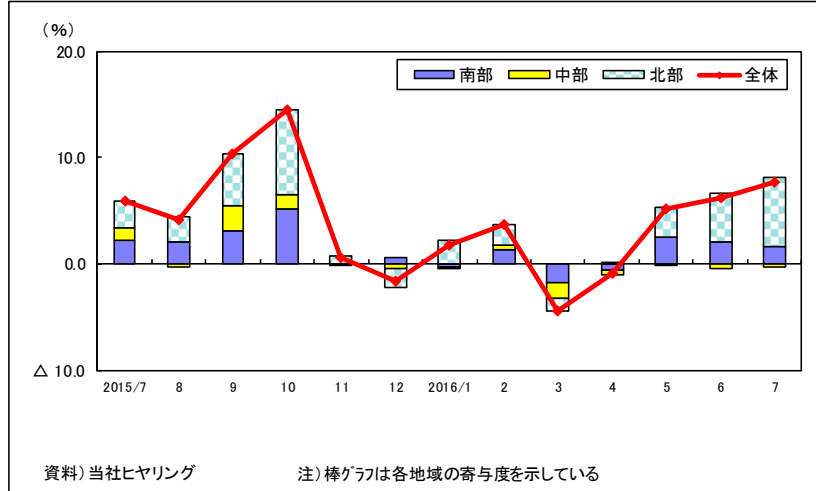
※乗務員等を除く2016年7月実績＝全体779,600人(同12.2%増)、外国客191,100人(同33.1%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…3ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2015/7	r 5.9	6.4	10.1	r 4.7
8	4.1	6.3	△ 2.7	4.3
9	10.3	8.7	21.4	9.0
10	14.4	12.7	9.8	17.2
11	0.6	△ 0.4	0.3	1.7
12	△ 1.6	1.4	△ 3.6	△ 3.8
2016/1	1.8	△ 0.7	△ 1.4	4.6
2	3.7	3.3	3.5	4.0
3	△ 4.4	△ 4.6	△ 11.4	△ 2.2
4	△ 0.9	△ 1.5	△ 3.0	0.3
5	5.2	6.5	△ 0.8	5.7
6	r 6.2	r 5.2	△ 3.6	9.2
7	7.7	4.9	△ 3.1	11.8

*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より 7.7%増加(3ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 4.9%増と3ヵ月連続、北部は同 11.8%増と4ヵ月連続で上回り、中部は同 3.1%減と5ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率…ビジネスホテルは前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回る。

単位: %、ポイント

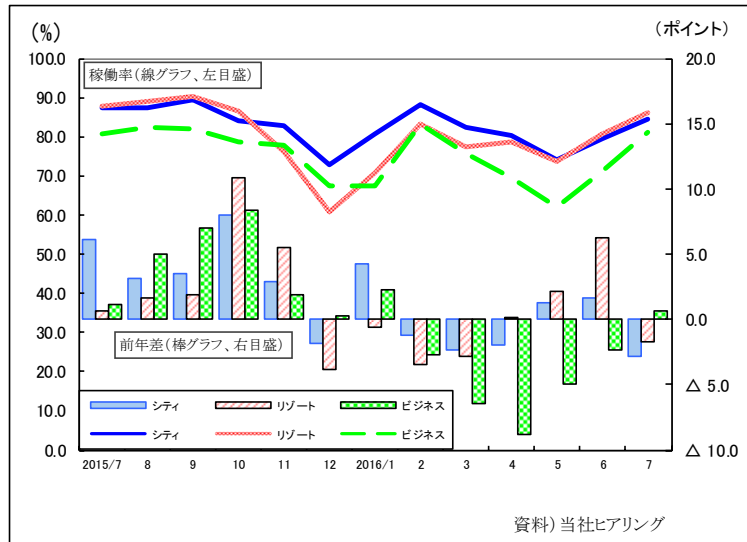
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2015/7	87.2	87.9	80.6	6.1	0.7	1.1
8	87.5	89.0	82.2	3.1	1.7	5.0
9	89.3	90.4	82.1	3.5	1.9	7.0
10	83.9	86.7	78.6	8.0	10.8	8.4
11	82.9	76.0	77.6	2.9	5.5	1.9
12	72.8	60.9	67.4	△ 1.8	△ 3.8	0.3
2016/1	80.5	70.9	67.3	4.2	△ 0.6	2.2
2	88.3	83.3	83.4	△ 1.2	△ 3.5	△ 2.7
3	82.3	77.3	75.9	△ 2.3	△ 2.8	△ 6.5
4	80.1	78.6	69.3	△ 2.0	0.2	△ 8.8
5	74.2	73.5	62.2	1.3	2.1	△ 4.9
6	79.6	80.7	71.3	1.6	6.2	△ 2.3
7	84.4	86.2	81.3	△ 2.8	△ 1.7	0.7

注)シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注)2015年10月より、シティホテル対象施設数が増(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

注)2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が増(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

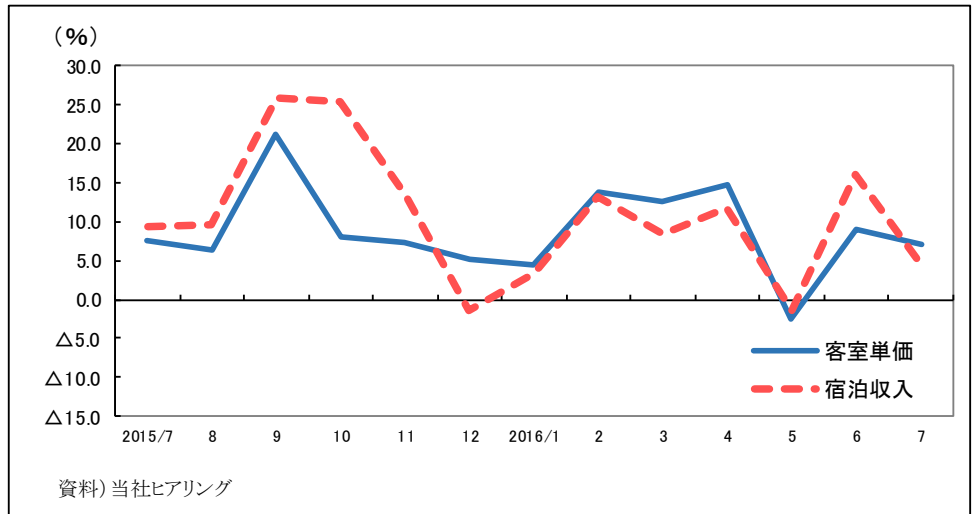


県内ホテル稼働率は、シティホテルが 84.4%と 2.8 ポイント減少(3ヵ月ぶり)、リゾートホテルが 86.2%と 1.7 ポイント減少(4ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが 81.3%と 0.7 ポイント上昇(6ヵ月ぶり)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2015/7	7.6	9.3
8	6.3	9.5
9	21.1	25.8
10	8.0	25.4
11	7.3	13.4
12	5.1	△1.3
2016/1	4.5	3.3
2	13.7	13.2
3	12.7	8.5
4	14.7	11.8
5	△2.4	△1.5
6	9.1	16.1
7	7.2	4.6



※対象施設数: 27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 7.2%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同4.6%増と前年同月を上回りました。

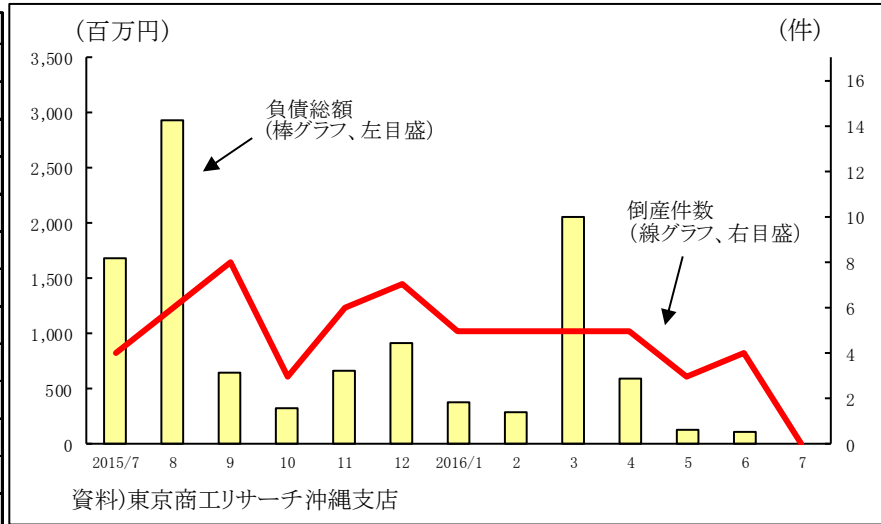


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額はともに発生なし。

単位: 百万円、件

	負債総額	倒産件数
2015/7	1,685	4
8	2,936	6
9	649	8
10	333	3
11	665	6
12	919	7
2016/1	375	5
2	282	5
3	2,050	5
4	596	5
5	122	3
6	110	4
7	0	0



7月の**企業倒産件数・負債総額**は、発生なしとなりました。ちなみに、倒産件数がゼロとなったのは1975年1月以降、初めてとなりました(TSR集計による)。

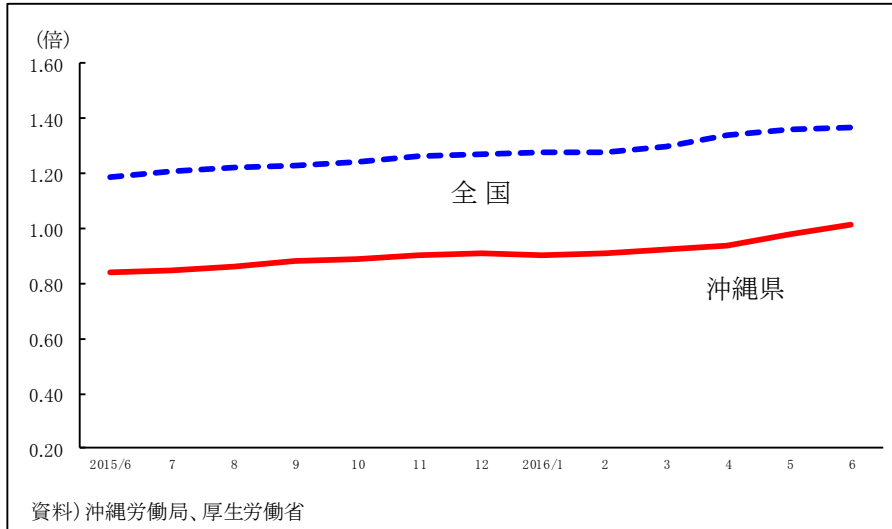


【参考】雇用関連: (良い)

(参考) 有効求人倍率(6月)…沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位: 倍

	沖縄県	全国
2015/6	0.84	1.19
7	0.85	1.21
8	0.86	1.22
9	0.88	1.23
10	0.89	1.24
11	0.90	1.26
12	0.91	1.27
2016/1	0.90	1.28
2	0.91	1.28
3	0.92	1.30
4	0.94	1.34
5	0.98	1.36
6	1.01	1.37



注) 季節調整済

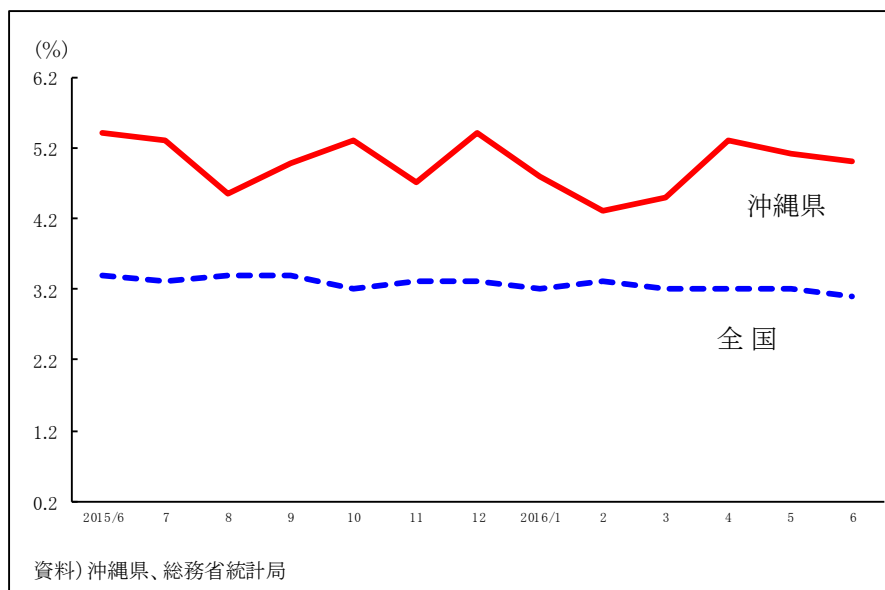
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

6月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.4%増の26,606人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.7%減の26,296人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.01倍となり前月より0.03ポイント上昇しました。(当月は県内初の一倍台となりました)

(参考) 完全失業率(6月)…前月より下落。

	単位:倍	
	沖縄県	全国
2015/6	5.4	3.4
7	5.3	3.3
8	4.6	3.4
9	5.0	3.4
10	5.3	3.2
11	4.7	3.3
12	5.4	3.3
2016/1	4.8	3.2
2	4.3	3.3
3	4.5	3.2
4	5.3	3.2
5	5.1	3.2
6	5.0	3.1

注) 季節調整済



6月の完全失業率(季節調整値)は、5.0%となり前月より0.1ポイント下落しました。